

# **Edelweiss Series**

SACD Player

MPS-6





# ► Playback Designs and Andreas Koch

唯一のDSDマルチレコーディング機であるSONOMAの設計に携わり、DSD信号をPCからUSB伝送するDoP (DSD Audio over PCM Frames) 方式の生みの親として知られるAndreas Koch (アンドレアス・コッチ)。Playback Designs (プレイバック・デザインズ) はAndreas Kochが2007年に立ち上げたハイエンドオーディオ・ブランドです。生み出される製品にはDSDという究極のデジタルフォーマットを再生する為の卓越した技術が盛り込まれています。PLL回路を使用せずに完璧なジッターレス信号を取り出す事を可能としたPDFAS。DACチップに頼らずオリジナル・アルゴリズムにより、入力信号をDSD信号に変換するFPGAを搭載したディスクリート構成のD/A回路。Playback Designsは世界最高峰のテクノロジーを詰め込んだ製品群によって多くのファンを獲得してきました。

2009年に発売されたMPS-5 SACDプレイヤーの登場は、世界のハイエンドオーディオマーケットに驚きをもって迎えられました。デジタルのエキスパートである彼の技術と経験から生み出されたMPS-5は、それまでのデジタル音源に対する固定概念を覆すほどの滑らかで自然なサウンドを実現していたからです。しかし、MPS-5はSACDメカの供給といった問題もあり、2015年に発売された限定品であるLTDバージョンを最後に残念ながら生産を終了しました。生産終了後もMPS-5を惜しむ声は多く、次期プレイヤーの発売を望む声が多く寄せられました。

2018年、Andreasの思い描いた夢のような音を目指したシリーズはDREAM SERIESと名付けられ、今までにないトップエンドのシリーズが誕生しました。デジタル入力は必要とされる全てを揃え最大でQUAD DSDに対応、高精度なアナログボリュームの搭載、プロセッシングとクロックコントロールのためのデジタルアルゴリズムの新規開発、左右独立のリニア電源の搭載など、FPGAをはじめとするオリジナル技術も内容や規模まで大幅なアップデートが行われ、実装された様々な技術がAndreasの夢を"究極のナチュラルサウンド"という形で具現化しました。

そして2022年、Andreas Kochの故郷スイスの国花「エーデルワイス」、この花の持つ洗練された美しさと力強さをイメージして「EDELWEISS SERIES」と名付けられた新たなシリーズが誕生しました。一体型SACDプレーヤー「MPS-6」は上位モデルのDREAMシリーズの主な技術を踏襲しながらも、Playback Designsが理想とする最も新しい設計と回路を余すことなく投入しました。「分離」をメインコンセプトにパーツ配置を見直し、よりシンプルかつ効果的に信号交換を行うことで、ノイズ排除が革新的に進んでいるのが、このEDELWEISSシリーズです。

## ► Andreas Koch's Professional Experience

世界のデジタル技術を牽引してきたAndreas Kochの経歴は輝かしいものです。

- 1982年 1984年
- STUDERにて、まだテープが主流だった時代に、2chとマルチチャンネルのPCMレコーダーの開発を担当。
- 1984年 1987年
  - 当時アナログ技術中心だったDOLBY社が、デジタル分野の強化のためにAndreasを招聘。現在まで続くDOLBYオリジナル・デジタル技術の基礎を構築。
- 1987年 1992年
  - STUDERに再び戻り、マルチチャンネル録音を可能とする最先端のハードディスクレコーダー等の開発を担当。
- 1992年 2003年
- SONYにて録音をアーカイブとして残す技術としてDSD方式の開発を担当。その後、ソニーがフィリップスと共同で行った、DSD方式を用いた新しいメディアである"SACD"の開発において中心的な役割を果たす。 1996年にはDSDで唯一のマルチチャンネル録音を可能とする"SONOMA"システムを開発。
- 2003年 2007年
- 技術コンサルタント会社AK Designとして独立し、多くの企業へデジタル技術を提供。
- 2007年 2015年
- 自身初のブランドPLAYBACK DESIGNSを立ち上げる。MPS-5、MPD-5を発表し、瞬く間にハイエンドブランドとして認知される。
- 2012年にはDSDを普及させるために、PCMを転送するファイルコンテナを用いて、ドライバーを使わずにUSBでDSD信号の転送を可能とした「DoP方式」を開発。ハイレゾ音源の普及に大きく貢献。
- 2015年 2020年
  - 2015年に日本限定モデルMPS-5 LTDを発表。
  - 2018年にPLAYBACK DESIGNSの集大成と言える究極のセパレートSACDプレイヤー MPT-8、MPD-8を発表。2019年に一体型のSACDプレイヤーMPS-8、2020年にステレオパワーアンプSPA-8を発表。
- 2022年
- EDELWEISSシリーズを発表。







Playback Designs Technology

## ▶ PDFAS "Playback Designs Frequency Arrival System"

D/A コンバーターの多くは入力されたデジタル信号をPLL 回路によってクロックと同期を取り、デジタル信号を補正しています。ここで避けられないのがジッターの存在です。 回路内のジッターが取り切れないと、その後もジッターを含んだデジタル信号を扱う事になってしまいます。ジッターの存在が音質を悪化させるのです。 Playback Designs製品はPDFASを採用。PLL回路は使用せずオリジナル・アルゴリズムで処理を行うことにより、完全にジッターを排除したデジタル信号を取り出すことに成功しています。 PLL回路が存在しない為、高価な外部クロックも必要ありません。

#### ▶ External Clock

Edelweiss SERIESに用いられている高性能クロック・ジェネレーターは、外部クロックとロックする必要はありません。 独自の制御アルゴリズムを使用することで、外部からのデジタル入力が引き起こすジッターを完全に取り除き、内部クロック回路を完全にシールドしています。 マスター・クロックの複雑な設定をする必要はありません。それでもMPS-6は外部クロックと接続した、より高価な製品を遙かに凌駕する上質な再生音を獲得しています。

## ▶ One MEMS Clock Control Design

従来のVCXO (水晶発振器) クロックではなく、Playback DesignsカスタムメイドのMEMS (Micro Electro Mechanical Systems) クロックを採用。 衝撃や振動等の外部要因に対する耐久性の向上に加え、電気的ノイズの多い条件下でも高い精度を保ち、高音質化に貢献しています。 MEMSクロック 1 基でディスプレイ表示やコントロール・タイミングなど、全ての制御を行うこだわりの設計。複数のクロックを搭載すると、多彩でカラフルなディスプレイ表示や クイックな操作性の実現など多くのメリットがあることは事実です。しかし、そこで避けられないのは違う周波数のクロックを用いることで起こるディファレントビート現象による音質劣化です。 Playback Designs製品は多少レトロな印象も与える赤のディスプレイとなっており、操作ボタンを押した時の反応は、少し緩やかだと感じる事でしょう。 しかし、これはディファレントビート現象を嫌い、ほんの少しの「サウンドの劣化」をも排除するAndreas Kochのこだわりなのです。 シンプルなディスプレイも、一呼吸時間を要する操作性も全ては音のため。究極のサウンドはこうしたこだわりの積み重ねが実現させているのです。

## ▶ ORIGINAL FPGA "Field Programmable Gate Array"

既存のDACチップを使用してD/A変換を行うのではなく、FPGAを採用しAndreas Koch自らが考案した独自のアルゴリズム・プログラムから成るディスクリート構成の D/A回路により D/A変換を行います。もちろんEDELWEISS SERIESの開発にあたって独自のFPGAはさらに磨きあげられました。 MPS-6ではFPGA回路を2基搭載しており、よりニアリティの高い再生を可能としています。

## ▶ P-LINK SYSTEM

専用のP-LINK (光接続)を用いる事で他のPlayback Designs製品との接続は、共通アースを排除し外部から混入するデジタルノイズを完全に遮断。 出力側と入力側の双方にアルゴリズムによる強力なノイズフィルターを装備する事で二重フィルタリングが可能となり、圧倒的な音質改善効果を生み出します。 このとき聴けるサウンドは、デジタル再生におけるブレイクスルーである事は間違いありません。





MPS-6 SACDプレーヤーは、最新テクノロジーを搭載した待望の一体型SACDプレーヤーです。 上位シリーズ「DREAMシリーズ」に使用されている技術を踏襲しており、傑作MPS-5 LTDと比べても予想を遙かに上回るクオリティアップを果たしています。

DAC部は全く新しいディスクリートコンバーター・デザインに基づいて設計されています。

トランスポート部は MPT-8やMPS-8と共通のD&M製。Andreas Koch自慢のディスクリートDAC "FPGA"は最新世代の回路を2基搭載。

1筐体となりスペースの関係で「Roon Core」オプションこそ搭載できませんが、今後発売予定の「Stream-X2」オプションが搭載可能。

TIDAL、Qobuz、Deezer、vTunerからストリーミングが可能となるだけでなく、外部 USBもしくはNASからのファイル再生をもサポート(DLNA/UPnP)。Roon-Readyにも対応します。

## ▶ Key Features

- ・高精度MEMSクロック1基を用いた単体制御による音質最優先設計
- ・MPS-5 / MPS-5 LTDでは1基だったFPGA (ディスクリートDAC) 回路は、2並列差動のディファレンシャル1bitDACを搭載する事で余裕ある動作と高音質化を実現
- ・入力された全ての信号はDSD変換され、50MHzまでアップサンプリングされた後にD/A変換を行う事で、究極に滑らかなアナログライク・サウンドを獲得
- ・新規に開発されたリニア電源は4×2の並列回路で構成された8つの電源が一体となっており、カスタムメイドされたトロイダルトランスで駆動
- ・FPGA回路やアナログ回路を飛躍的に進化させて、SN、ダイナミックレンジを向上
- ・カラーレーションの少ない高解像度再生を実現、ハイ・レスポンスに加えワイドレンジな音楽再生、1bitDACらしい 繊細さと柔らかさ、そして豊かな倍音再現性も備える

## ▶ Option「Stream-X2」オプション

「Stream-X2」オプションは、DLNA/UPnPに対応したネットワーク機能が追加可能になるオプションです。NAS等のネットワークストレージおよび、USBストレージからのファイル再生に対応。ストリーミングは、日本でもサービスが開始されたDeezerはもちろん、Tidal、Qobuz、vTunerにも対応します。またRoon-Readyにも対応しています。 Model: Stream-X2 Option

※最新価格は㈱ナスペックHP(http://naspecaudio.com)をご参照ください。

#### ■Speficications

- ・オーディオフォーマット : PCM up to 384kHz:WAVE, WMA, FLAC, AAC, AIFF, Apple Lossless, MQA, MP3 DSD (via DoP/ up to 11.2MHz)
- ・ネットワークプロトコル: DLNA, UPnP, Roon-Ready
- ・ストリーミング: TIDAL, Qobuz, Deezer, vTuner

※2022年後半受注開始予定/予定仕様

Model: MPS-6 IAN: 457140

4571408318562



※受注オーダー品

※最新価格は(株)ナスペックHP (http://naspecaudio.com) をご参照ください。

## ■Specifications

搭載メカニズム:D&M製

入力系統(デジタル): AES/EBU(XLR) × 1 (PCM up to 192kHz,DSD via DoP)

SPDIF(COAX)  $\times$  1 (PCM up to 192kHz,DSD via DoP)

SPDIF(Toslink)  $\times$  1 (PCM up to 96kHz)

PLAYLINK(P-LINK) × 1全てのネイティブサンプルレートに対応

USB  $\times$  1 (PCM up to 384kHz,DSD up to 11.2MHz)

対応OS:Windows7、もしくはそれ以降のOS

Mac OS X 10.6.6、もしくはそれ以降のOS

出力系統(デジタル): PLAYLINK(P-LINK) × 1

出力系統(アナログ): バランス(XLR) × 1 (2hot, 4.1Vrms @ 1kHz)

アンバランス(RCA)  $\times$  1 (4.1Vrms@1kHz)

消費電力:100W(最大)

サイズ:W440 × D430 × H110 mm

重量:11.0Kg

付属品:リモートコントロール

オプション: Stream-X2 発売予定 (価格未定/受注生産)

※オプション・モジュールの追加は、本体を弊社にて一時お預かりする必要があります。 ※11.2MHzはWindows Asio方式と、DELA製のミュージックライブラリー(N1/N10/N100) マーカーレス再生のみ対応。Mac等のDoP方式は5.6MHzまで。







株式会社ナスペック TEL 058-215-7510 岐阜県岐阜市薮田西 1-4-5 020 0120-932-455 http://naspecaudio.com e-mail:support@naspecaudio.com

@naspecaudio



@naspec\_audio

※本カタログに記載されている内容は 2022 年 11 月時点のもの であり、外観・仕様・価格などは予告無しに変更する場合があ ります。※製品は日本の法規格、技術基準、安全基準に則った 日本国内仕様となっています。その為、輸入元本国の仕様とは 異なる場合があります。※製品の色は撮影・印刷の関係で実際 の色と異なって見えることがあります。※製品の保証修理期間 はご購入から 2 年となります。詳しくは Web 上に掲載されてい る保証修理規程をご覧ください。

※11.2MHzはAsio方式のみ対応。DoP方式は5.6MHzまで。 ※対応OSは2022年11月時点のものです。最新のOS対応状況については、株式会社ナスペックWEB (http://naspecaudio.com/)をご確認ください。